

花きの県別生産出荷概況(1月見通し)

| 品目 | 県名 | 作付面積ha (前年比) | 主な品種 | 12月出荷見込み 千本 | | 主産地 | 11月のピーク | | |
|----------|-----|-----------------|--------------------------------------|-----------------|-----------------|--|---------|----|----|
| | | | | 全出荷量 | 京浜地域 | | 上 | 中 | 下 |
| アルストロメリア | 山形県 | 9.6 (95%) | レベッカ、オルガ、レモン、アパランジェ、 ブッチーニ、エベレスト他 | 301 (102%) | 104 (103%) | JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら | 35 | 35 | 30 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| さくら | 山形県 | 206 (104%) | 啓翁桜 | 279 (100%) | 189 (100%) | 県内全域 | 25 | 40 | 35 |
| 菊 | 栃木県 | 39 (99%) | 神馬、精興光玉他 | 735 (90%) | 300 (90%) | 大田原 小山 真岡 塩谷 他 | 20 | 40 | 40 |
| | 大分県 | 0.9 | 晁花の富士 | 350 | | 杵築 | 35 | 15 | 50 |
| | 宮崎県 | 34.8 (90%) | 優花、岩の白扇、文化の旭、夏光花、神 馬等 | 500 (99%) | 3 (108%) | 国富 都城 こばやし えびの市 尾鈴 | 25 | 35 | 40 |
| | | | | | | | | | |
| ストック | 千葉県 | 42.2 (100%) | カルテットシリーズ、アイアン系 | 2,243 (110%) | 1,363 (110%) | 館山市(神戸、西岬)、南 房総市(白浜の長尾、千 倉、丸山、和田)、鴨川市 、夷隅 | 30 | 35 | 35 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

| 品目 | 作柄及び概況 | 販売における現状と今後の見通し |
|----------|--|--|
| アルストロメリア | 1月の出荷量は前年並の見込み。加温温度を下けている圃地があり、気温の低下に伴い出荷量はやや少なくなる。切り花品質は概ね良好である。 | <p>現状 愛知、山形、北海道中心の入荷で、他の産地も数量は徐々に増加傾向にあったが、急激な冷え込みにより生育が遅れている。相場は大きく崩れることなく中値で推移。年末に向けては暖房の温度を上げて、出荷増を期待。寒波もあり供給量の大きな増加はない。</p> <p>見通し 12月に予想以上に出荷数量が増えていないため、各産地1月の出荷数量は増加する見込み。低温の影響もあるが、晴天が続けば数量は急激に増加傾向。上位等級も増え、品質の良いものがまとまってくる見込み。450,000本 @85</p> <p>大田花き FAJ 12月同様長野・山形中心の入荷。安定した入荷が続き、安定した相場での取引となる見込み。</p> <p>第一花き 入荷も少ない中 概ね例年なみ @90</p> <p>東京フラワーポート 例年並の入荷模様。品種によって単価格差が見られる。</p> <p>東日本板橋花き 業務中心の動き、愛知、青森、福島中心の入荷あり。</p> <p>世田谷花き 引き続き量はあがるが、単価は少し落ちて安定する見込み。</p> |
| | | |
| | | |
| さくら | 正月向け(年内出荷)は12月20日頃から本格化する見込み。1月出荷は、12月中旬から順次促成が行われている。花芽の着生は概ね良好である。 | |
| 菊 | 生育は概ね順調、昨年並みの出荷量となる見込み。 | <p>現状 上旬については少な目、中旬より増加傾向に入り、各産地、需要期に入る下旬にほぼピークをむかえる。引き合いは、昨年と比べ全般的にやや弱め。</p> <p>見通し 主要各産地の作付け計画から、上中旬については例年並。下旬からはやや少な目で推移することを見込む。下旬からは、業務向け上位等級を中心に品薄傾向で推移する見込み。</p> |
| | 日照不足で若干遅れ気味。病害虫の被害は特に認められず生育は良好。 | <p>大田花き 需要一段落するも、出荷数量も落ち着き、単価弱保ち合い。葬儀中心の動きとなる見込み。</p> <p>FAJ</p> |
| | 12月に入ってからの冷え込みにより、年末出荷が一部遅れて、1月上旬にずれ込むが、大きな数量ではない。その後は中旬以降量が増え始める。生育は順調、2L、Lが多くなる見込み。 | <p>第一花き 特に大きな需要はないが、入荷も多くなり安定した流れ @75</p> <p>世田谷花き 上旬入荷少なく、下旬にかけて、多少増えそう単価は保合ぐらい。</p> |
| | | <p>東京フラワーポート 上位等級の業務が主流での動き。入荷も多くはない。</p> <p>東日本板橋花き 特に大きな需要もなく葬儀需要中心となる見込み。 @2L 100~30</p> |
| ストック | 11月末まで暖かく晴れが続いたため出荷期は2週間以上前進し、12月は早生品種の出荷が終わり出荷量が減少した。12月上旬から寒さが厳しくなったが晴れが多いので1月は平年並みの出荷量が見込まれる。アイアン系品種(ホワイト、ピンク系で6割)が中心となる。生育は順調。 | <p>現状 山形方面は寒さが厳しく、開花が鈍い状況。千葉方面は10月の高温の影響で前進傾向。全体数量が例年よりやや少く安定的な販売。年末需要に関しては活発な取引となった。</p> <p>見通し 12月に咲いていない分が山形方面中心に出てくる見込み。冷え込み次第で数量の増減がある模様。需要に関しても寒さ次第で左右される。</p> |
| | | <p>大田花き FAJ 引き続き千葉・山形などより入荷する見込み。葬儀系中心に引き合いは安定。</p> <p>第一花き 入荷は多くなるが、高値は無いが安定した流れ@SP90 ST80</p> <p>世田谷花き 福島産は、ほぼ終了。ST系・SP系とも千葉産中心の入荷。</p> |
| | | <p>東京フラワーポート 業務需要での引き合いに期待したい。入荷は例年並の見込み。</p> |